

## 「日是好日」

賀茂小学校長 小田加奈子

今年度豊橋市内の小学校は、四校を除いて、自校のプールではなく民間のプールで、水泳の授業を行うことになりました。賀茂小学校も、西小鷹野にある民間の施設「グラントパシフィックススポーツ倶楽部」を利用して、水泳の授業を行いました。昨年度までは、六月初めに、消防団やPTA役員さんに協力していただきプール掃除をしていましたが、その必要がなくなりました。民間施設を利用するようになり、水泳の授業は年に三回のみとなり、一度に二時間分の授業を行うことになりました。朝八時三十分には、定重集会所からバスに乗り民間プールへと向かいます。全校児童が二台のバスに分かれて出発です。児童数の少ない本校は、体育の授業は、一・二年、三・四年、五・六年とそれぞれ二学年合同で行っています。いつもの体育の授業では、二年の児童を二人の担任で指導する形態をとっていますが、民間施設を利用しての授業では、インストラクターが、二学年に一人ずつついてくれます。もちろん授業は、教員が中心となって進めるのですが、それぞれ約二十名の児童を各三名態勢でというのはぜひいたくなことです。

今年度、賀茂小学校のプールの施設を一度だけ使用しました。それは、五月二十八日「どろんこ体験と田植え」の日です。ご存じのかたも多いかと思いますが、全校児童が水泳用のゴーグルをつけて臨むどろんこ体

験は、賀茂小学校を代表する特色ある行事です。田植え前の田んぼの中を走りまわり、着ている服はもちろんのこと、顔もかぶっている赤白帽子も、はねた泥で汚れます。全身でどろんこを楽しむのです。子どもたちの笑顔がたくさん見られる行事ですが、終わった後は大変です。顔についた泥は、第一段階として地域のかたから借りている「賀茂つ子田んぼ」の隣のイチゴハウスの水道から伸ばしたホースの水を使って毎年洗わせていただいています。地域のかたの協力はともありますが、足の、田んぼ横の水路でざっくり洗います。その後、学校へ戻り、プールの温水シャワーを使って全身の泥を落とし、着替えるのです。

十一月のある日、プール横にあるプロパンガスの保管庫を見ると、今まであったはずのプロパンのボンベがなくなっていました。学校のプールを使わなくなったことにより、ガス会社が撤去していったのです。さあ大変。賀茂小学校にとっては大事です。温水シャワーなくしては、どろんこ体験ができなくなってしまう。すぐに、教育委員会やガス会社に連絡し、何とか元に戻しても使えることになりました。来年度も温水シャワーを使ってどろんこ体験ができそうです。

来年度賀茂小学校は、コミュニティ・スクールとなります。今まで以上に地域の多くのかたに学校や子どもたちに関わっていただき、見守り育てていただけるようにしていきたいと思っています。